

## 平成26年度にエームス試験を実施した物質に関する 遺伝毒性の総合評価について

### 1 これまでの経緯

#### (1) WG での評価及び試験の実施

平成 26 年度の遺伝毒性評価 WG における評価により、

「エームス試験が実施されていないため、判断保留」又は「(エームス試験は実施されているが) 遺伝毒性の有無の判断困難」とされた物質

平成 25 年度に実施した構造活性相関で + の判定となった物質

のうち、試薬の入手可能な 25 物質について、平成 26 年度の委託事業によりエームス試験を実施した。

#### (2) エームス試験結果の評価

本WG前にWG委員に試験報告書を評価いただいた結果、26年度実施エームス試験結果の評価は資料3-2のとおりである。

25 物質の試験方法はいずれも妥当であり、13 物質が陰性、12 物質が陽性(うち、強い陽性が 8 物質)と判断された。また、陽性の物質の最大比活性値も妥当と判断された。

### 2 本WGにおける検討事項

【平成 26 年度に実施したエームス試験の結果】及び【遺伝毒性に関する文献調査の結果】を踏まえて、25 物質それぞれについて遺伝毒性の総合評価( ~ のどれに該当するか)の判断)を行う。

遺伝毒性なし

弱い遺伝毒性あり

強い遺伝毒性あり

遺伝毒性はあるが、強弱の判断不能

遺伝毒性の有無の判断困難